

ユーザ ガイド

**v75、mx705、MV7540、s7540、FS7600、
v7650 17インチCRTモニタ**

製品番号 : 368239-293

2004年12月

このガイドでは、モニタのセットアップ、ドライバのインストール、オンスクリーンディスプレイメニューの使用方法、トラブルの解決方法、規定に関するご注意、およびモニタの仕様について説明します。

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

Microsoft、MS-DOS、Windows、およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Pentium、Intel Inside、およびCeleronは、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標です。

Adobe、Acrobat、およびAcrobat Readerは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ユーザガイド

v75、mx705、MV7540、s7540、FS7600、v7650 17インチCRTモニター

初版 2004年9月

改訂第2版 2004年12月

製品番号：368239-293

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 モニタの機能

2 安全と保守についてのガイドライン

安全についてのガイドライン	2-1
電源要件	2-1
安全に関する重要な情報	2-1
保守に関するガイドライン	2-2

3 モニタのセットアップ

モニタの台の取り付け	3-1
モニタの台の取り外し	3-1
ケーブルの接続	3-2
スピーカの接続（一部のモデル）	3-3
台付き大型スピーカ	3-3
小型スピーカ	3-5
USBスピーカ	3-6
コンピュータへのヘッドフォンの接続	3-6

4 モニタの操作

ソフトウェアおよびユーティリティ	4-1
情報ファイル	4-2
Image Color Matchingファイル	4-2
.INFおよび.ICMファイルのインストール	4-3
CDからのインストール	4-3
Webサイトからのダウンロード	4-3
フロント パネルのボタン	4-4
オンスクリーン ディスプレイ	4-5
オンスクリーン ディスプレイの機能	4-6
モニタのメッセージ	4-8
[No Signal]メッセージ	4-8
[Out of Frequency Range]メッセージ	4-9
エナジー セーブ モード	4-10

A トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法	A-1
インターネットWebサイト	A-3
お問い合わせになる前に	A-3

B 技術仕様

v75、MV7540、s7540 17インチ カーブCRTモニタ	B-1
mx705およびFS7600 17インチ フラットCRTモニタ	B-3
v7650 17インチ フラットCRTモニタ	B-5

C 規定に関するご注意

各国別勧告	C-1
Federal Communications Commission Notice	C-1
Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo, United States Only	C-2
Canadian Notice	C-3
Avis Canadien	C-3
European Notice	C-3
Korean Notice	C-3
電源コードの要件	C-4

モニタの機能

このカラー モニタは、マイクロプロセッサを搭載したコンピュータによってデジタル制御されます。使いやすい画面表示（オンスクリーンメニュー）を使用して、好みに応じてモニタの設定を簡単に調節できます。



17インチ（43 cm）CRTモニタには、以下のような機能があります。

- 表示領域16インチ（対角長41 cm）のディスプレイ
- 1024×768（85 Hz）の推奨解像度
- 画面の上下左右の向きを調整可能
- モニタ用のAC電源コード（一部のモデル）
- VGAアナログ信号ケーブルが付属
- スピーカおよび電源アダプタ（一部のモデル）

- プラグアンドプレイ機能（システムでサポートされる場合）
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、オンスクリーンメニューによる画面調節機能。画面表示のすべての要素を調節可能
- 低消費電力の環境要件に準拠したエナジーセーブ機能
- 以下の規定に準拠
 - European Union CE Directives
 - Swedish MPR II（一部のモデル）
 - Swedish TCO '03（一部のモデル）
- ユーザマニュアル

安全と保守についてのガイドライン

安全についてのガイドライン

電源要件

お使いのモニタには電源コードが付属しています。別のコードを使用する場合は、適切な電源および接続先のみを使用してください。モニタに接続する適切な電源コードについては、付録Cの「[電源コードの要件](#)」を参照してください。

安全に関する重要な情報



警告：感電や装置の損傷を防止するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。



警告：安全のために、電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にあるコンセントに接続してください。モニタから完全に電源を切る必要があるときは、プラグ部分をしっかりと持ってコンセントから電源コードを抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。



注意： モニタおよびコンピュータの保護のために、コンピュータおよび周辺装置（モニタ、プリンタ、スキャナなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをお勧めします。

保守に関するガイドライン

モニタの性能を向上させ長く使い続けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- モニタのキャビネットを開けたり自分でモニタを修理したりしないでください。正常に動作しない場合や、モニタを落としたり破損したりした場合には、電源コードを抜いてからHPのサポート窓口にお問い合わせください。
- このマニュアルに記載してある機能に対してのみ調整を行ってください。
- モニタは壁やその他の囲いから最低76 mm離れた場所に設置してください。
- 外部電源は、モニタ裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPSまたはA）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニタは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置します。電源コードを電源コンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。

- モニタを使用していないときには、モニタの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバプログラムを使用したり、モニタを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニタを長くお使いいただけます。
- モニタを清掃するときには、必ず電源コードを電源コンセントから外します。液体クリーナやスプレー式クリーナは使わずに、軽く湿らせた布で拭いてください。布で拭いただけでは画面の汚れがとれない場合には、静電防止用の市販のCRTクリーナを使います。



注意：ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニタや画面を拭かないでください。このような化学薬品を使うと、キャビネット表面や画面が損傷することがあります。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- 水分や汚れが通気孔に入ることがあるので、モニタの上に植木鉢を載せないでください。
- モニタを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニタは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。また、大容量のトランスやモーターなど強い磁気を発生する機器の近くに置かないでください。
- 2台のモニタを1つのシステムに接続する場合は、相互の干渉を少なくするために2台のモニタをできるだけ離して設置してください。

- モニタの前面を下に向けて置かないでください。フロント パネルのボタンやモニタの画面が損傷することがあります。



モニタのセットアップ

モニタの台の取り付け

1. 底面が上になるようにして、モニタを静かに置きます。
2. 台のフックをモニタの底部のソケットに合わせて、台を取り付けます。
3. 動かなくなるまで台をモニタの前面の方へ押します。



モニタの台の取り外し


モニタを台から取り外す必要がある場合は、底面が上になるようにモニタを置いてから、以下の手順を実行します。

1. 留め金を外し、台をモニタの背面の方へスライドさせます。
2. 台を持ち上げ、モニタから離します。

ケーブルの接続

モニターを、コンピュータの近くの作業がしやすく通気のよい場所に置いてから、セットアップを始めます。

1. コンピュータ、およびコンピュータに接続されているその他の装置の電源は必ず切っておいてください。
2. 電源コード❶をモニターの背面に接続してから、コンセントに接続します。
3. モニターの背面から出ているビデオ ケーブル（青のコネクタ）❷をコンピュータの背面にある15ピン コネクタに接続し、ネジを締めてしっかりと固定します。

 **注意：**ビデオ ケーブルを接続する際は、コネクタの向きに注意してください。誤った向きで無理に挿入すると、信号ケーブルのピンが破損しますので、ご注意ください。



電源コンセントの形状は国や地域により異なります。

4. コンピュータの電源を入れてから、モニタの電源を入れます。



モニタが正常に動作しない場合は、「付録A [トラブルシューティング](#)」を参照してください。

5. 必要に応じて、好みの設定になるようにフロント パネルのモニタのボタンを調整してください。詳しくは、第4章の「[フロント パネルのボタン](#)」を参照してください。

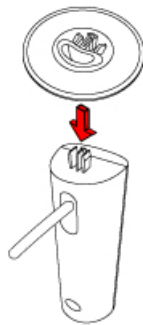
これでモニタの取り付けは完了です。

スピーカの接続（一部のモデル）

モニタによっては、一部のモデルのスピーカが付属しています。お使いのモニタに付属のスピーカ モデルの手順を参照してください。

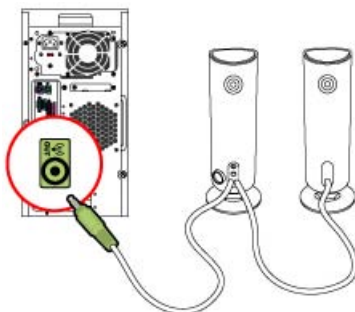
台付き大型スピーカ

1. スピーカに台が取り付けられていない場合に取り付けるには、まず各スピーカをひっくり返して底面を上にします。台の穴をスピーカの背面に向け、台のキー スロットの位置をスピーカの中央のタブと合わせて、台をスピーカの位置まで下ろします。



2. コントロール スピーカがモニタの向かって右側に位置するように、スピーカ セットをモニタの近くに置きます。

3. コントロール スピーカの緑色のコネクタを、コンピュータ背面の緑色のポートに差し込みます。



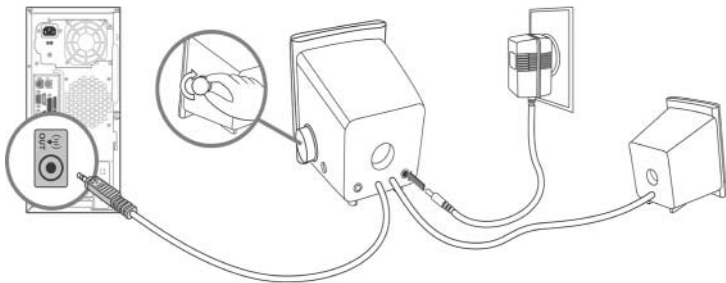
4. スピーカの電源アダプタ ケーブルをコントロール スピーカ背面のコネクタに差し込み、ACアダプタを電源コンセントに差し込みます。
5. コントロール ノブ **A** で、スピーカの電源を入れて音量を調節します。
6. サブウーファを使用している場合は、サブウーファのオーディオプラグをスピーカのサブウーファ コネクタ **B** に差し込みます。



7. 必要に応じて、ヘッドフォンを右のコントロール スピーカのヘッドフォン コネクタ（図にありません）に接続します。

小型スピーカ

1. コントロール スピーカがモニターの向かって右側に位置するように、スピーカ セットをモニターの近くに置きます。
2. スピーカの電源アダプタ ケーブルをコントロール スピーカの背面にある黒のコネクタに接続してから、ACアダプタを電源コンセントに接続します。
3. コントロール スピーカの緑のコネクタをコンピュータの背面の緑のポートに接続します。
4. スピーカの電源を入れて、コントロール スピーカの側面のノブで音量を調節します。

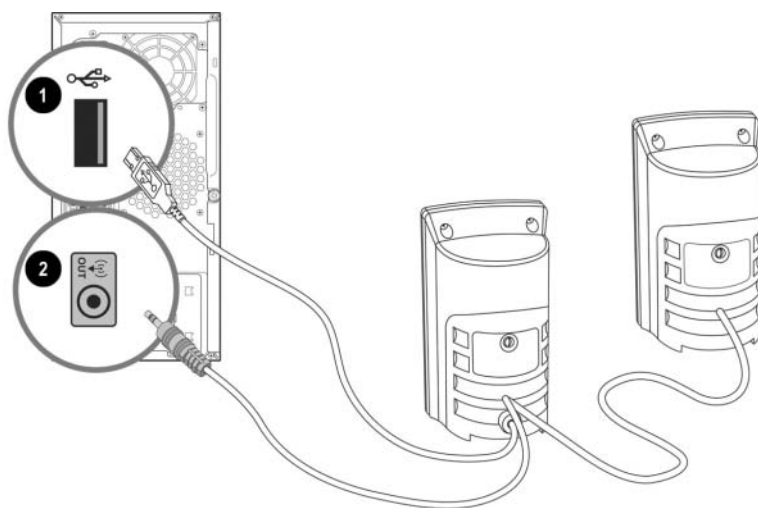


USBスピーカ

1. コントロール スピーカがモニタの向かって右側に位置するように、スピーカ セットをモニタの近くに置きます。
2. コントロール スピーカのUSBケーブルを、コンピュータのUSBポートに差し込みます①。
3. コントロール スピーカに緑色のコネクタ（オーディオ コネクタ）がある場合は、コンピュータの緑色のポートに差し込みます②。



オーディオ ケーブルは、一部のモデルでのみ使用できます。



コンピュータへのヘッドフォンの接続

お使いのスピーカにヘッドフォン ポートがない場合、ヘッドフォンを使用するには、コンピュータの背面にある「Out」、「Line Out」、または「Speaker」というラベルが付いたコネクタに差し込みます。ヘッドフォンを接続するために、スピーカを取り外す必要がある場合もあります。

モニタの操作

ソフトウェアおよびユーティリティ

モニタのモデルによっては、コンピュータにインストール可能な以下の2つのファイルが収録されたCDが付属しています。

■ .INF（情報）ファイル

■ .ICM（Image Color Matching）ファイル

Adobe Acrobat ReaderはこのCDに収録されており、メニューからインストールできます。



モニタにCDが付属していない場合は、.INFおよび.ICMファイルをHPモニタ サポートWebサイトからダウンロードすることができます。この章の「[Webサイトからのダウンロード](#)」を参照してください。

情報ファイル

.INFファイルを使用すると、コンピュータによるモニタとの通信およびすべてのモニタ機能の使用が可能になります。.INFファイルは、モニタとお使いのコンピュータのグラフィックスアダプタとの互換性を確保するために、Microsoft® Windows®オペレーティングシステムが使用するモニタリソースを定義します。

このモニタはWindowsプラグアンドプレイ機能に対応しており、.INFファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニタのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピュータのグラフィックカードがVESA DDC2に準拠しており、モニタが直接グラフィックカードに接続されている必要があります。BNC分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。プラグアンドプレイ機能の利用条件を満たしていない場合は、.INFファイルをインストールする必要があります。

Image Color Matchingファイル

.ICMファイルを使用すると、画像の色を正確に表示できます。.ICMファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニタとプリンタ間またはスキャナとモニタ間の色調を調整します。このファイルにはモニタのカラーシステムプロファイルが含まれており、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。



.ICMのカラープロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

.INFおよび.ICMファイルのインストール

.INFおよび.ICMファイルを更新する必要がある場合は、これらのファイルをCDからインストールするか、Webサイトからダウンロードできます。

CDからのインストール

.INFおよび.ICMファイルをCDからコンピュータにインストールするには、以下の手順で操作します。

1. CDをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。CDメニューが表示されます。
2. [INF and ICM Readme] (INFおよびICMのReadme) ファイルを読みます。
3. [Install INF and ICM Files] (INFおよびICMファイルのインストール) を選択します。
4. 画面の指示に従って操作します。
5. .INF ソフトウェアがインストールされたら、Windows を再起動します。
6. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュレートが表示されていることを確認します。



インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されているモニタの.INFおよび.ICMファイルを手動でインストールする必要があります。CDの[INF and ICM Readme]ファイルを参照してください。

Webサイトからのダウンロード



最新のバージョンの.INFおよび.ICMファイルをHP モニタ サポート Web サイトからダウンロードするには、以下の手順で操作します。

1. <http://www.hp.com/support>にアクセスし、国または地域を選択します。
2. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]を選択してお使いの製品名などを[検索対象]ボックスに入力し、[>>]ボタンをクリックしてサポート ページおよびダウンロード ページへのリンクをクリックします。

- 3. システムがインストール要件を満たしていることを確認します。
- 4. 画面の指示に従って、ソフトウェアをダウンロードします。

フロント パネルのボタン



番号	アイコン	名称	機能
①	menu	メニュー	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) の起動およびオンスクリーン メニューの終了を行います
②	—	左調整	選択ボタンと組み合わせて押すと、前のメニュー オプションに戻ったり、調整レベルを下げたりします。単独で押すと輝度を調整する画面が表示されます
③	+	右調整	選択ボタンと組み合わせて押すと、次のメニュー オプションに進んだり、調整レベルを上げたりします。単独で押すとコントラストを調整する画面が表示されます
④	select	選択	OSD メニューで機能や調整レベルを選択します
⑤		電源ランプ	モニタの電源を制御します。電源ボタンのランプは、モニタの状態を示します  一部のモデルでは、電源ランプのアイコンが異なります



オンスクリーン ディスプレイの機能

モニタのフロント コントロール パネルの右調整ボタンや左調整ボタンを使用して、次の表に示すオンスクリーン ディスプレイ機能を調整します。

オンスクリーン ディスプレイのアイコンと機能

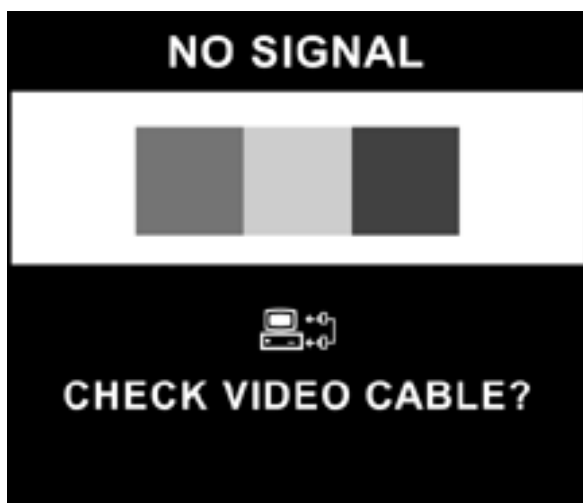
アイコン	機能	説明
	Contrast (コントラスト)	右調整ボタンでコントラストを強め、左調整ボタンでコントラストを弱めます
	Brightness (輝度)	右調整ボタンで輝度を上げ、左調整ボタンで輝度を下げます
	Horizontal Position (水平表示位置)	右調整ボタンで画像を右へ、左調整ボタンで画像を左へ移動します
	Horizontal Size (水平サイズ)	右調整ボタンで水平方向の表示幅を広げ、左調整ボタンで水平方向の表示幅を狭めます
	Vertical Position (垂直表示位置)	右調整ボタンで画像を上へ移動し、左調整ボタンで画像を下へ移動します
	Vertical Size (垂直サイズ)	右調整ボタンで垂直方向の表示幅を広げ、左調整ボタンで垂直方向の表示幅を狭めます
	Pincushion (ピン クッション)	右調整ボタンで画像の両辺をくぼませ、左調整ボタンで画像の両辺をふくらませます
	Trapezoid (台形歪)	右調整ボタンで画像の上辺を下辺より大きくし、左調整ボタンで画像の下辺を上辺より大きくします
	Pin Balance (ピン バランス)	右調整ボタンで画像の上辺と下辺を右へ移動し、左調整ボタンで画像の上辺と下辺を左へ移動します

オンスクリーン ディスプレイのアイコンと機能（続き）

アイコン	機能	説明
	Parallelo-gram (平行四辺形歪)	このコントロールで、画面の両端の傾きを同じ方向に調整します
	Tilt (Rotation) (チルト (回転))	右調整ボタンで画像の上下左右の辺を右へ回転し、左調整ボタンで画像の上下左右の辺を左へ回転します
	Moire (モアレ)	右調整ボタンでモアレの除去レベルを上げ、左調整ボタンでモアレの除去レベルを下げます
	Degauss (消磁)	このコントロールで、画面を消磁し色の不整を少なくします 消磁は、30分に1回の間隔で行うことをお勧めします
	Color Temp (色温度)	右調整ボタンで右側の色温度を選択し、左調整ボタンで左側の色温度を選択します
	Reset (リセット)	このコントロールで、モニタの設定値を工場出荷時の値にリセットします

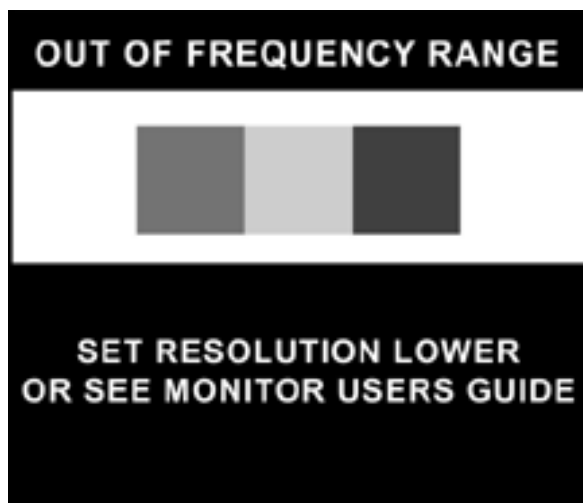
モニタのメッセージ

[No Signal]メッセージ



[No Signal]メッセージがモニタ画面に表示された場合は、ビデオケーブルが正しく接続されていること、またコンピュータの電源が入っていることを確認します。

[Out of Frequency Range]メッセージ



[Out of Frequency Range]メッセージがモニタ画面に表示された場合は、ビデオ解像度やリフレッシュ レートが、モニタでサポートされるレベルよりも高く設定されています。

モニタのビデオ解像度やリフレッシュ レートを変更するには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータを再起動します。
2. コンピュータをSafeモードにします。Safeモードにする方法については、お使いのコンピュータのオペレーティング システムのヘルプを参照してください。
3. 表示設定値をサポートされている設定値（「[技術仕様](#)」を参照）に変更します。
4. コンピュータを再起動し、新しい設定値を有効にします。

エナジー セーブ モード

お使いのモニタは、低消費電力の環境要件に適合しています。このエネルギー節約機能は、ハードウェアおよびソフトウェアの機能を組み合わせて使用して、コンピュータがモニタの消費電力を制御し、使用していないときのモニタの消費電力を節約することを可能にします。

パワー マネージメント ステータス

状態	ランプの色	消費電力	説明
オン	緑	75 W未満	通常の動作
スリープ	オレンジ	4 W未満	画面には何も表示されません。高電圧がオフになります。ヒータの電圧がオフになります。短時間のウォームアップ後にフル パワー モードに戻ります



モニタのエナジー セーブ機能は、エナジー セーブ機能を備えたコンピュータに接続されている場合のみ有効です。

エネルギー節約機能を備えたエナジー セーブ ユーティリティは、すべてのMicrosoft Windowsオペレーティング システムに用意されています。一部の機能は、DOSでも使用できます。エナジー セーブ機能の設定の手順については、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください（エナジー セーブ機能は、パワー マネージメント機能と呼ばれることもあります）。

トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されない	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	電源スイッチがオフになっている	電源を入れます
	ビデオ ケーブルが正しく接続されていない	ビデオ ケーブルを正しく接続します
	画面表示を消すユーティリティが有効になっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かします
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度およびコントラストの設定が低すぎる	メニュー ボタンを押して、オンスクリーン ディスプレイを起動します。[Brightness]（輝度）または[Contrast]（コントラスト）アイコンを選択して、調整します
色が異常	磁気を発する物が近くにある	磁気を発する物を離れた場所に移動します
	モニタを移動したか、不注意にぶつけた	メニュー ボタンを押して、オンスクリーン ディスプレイを起動します。[Degauss]（消磁）を選択して有効にします 消磁は、30分に1回の間隔で行うことをお勧めします

トラブル	原因	解決方法
画像が大きすぎる か小さすぎる	水平方向の表示幅を調整 する必要がある	メニュー ボタンを押して、オンスクリーン ディスプレイを起動します。[Horizontal Size] (水平サイズ) を選択して、調整します
	垂直方向の表示幅を調整 する必要がある	メニュー ボタンを押して、オンスクリーン ディスプレイを起動します。[Vertical Size] (垂直サイズ) を選択して、調整します
画像が中央に表示 されない	水平方向の位置を調整す る必要がある	メニュー ボタンを押して、オンスクリーン ディスプレイを起動します。[Horizontal Position] (水平位置) を選択して、調整します
	垂直方向の位置を調整す る必要がある	メニュー ボタンを押して、オンスクリーン ディスプレイを起動します。[Vertical Position] (垂直位置) を選択して、調整します
[No Signal] が画面 に表示される	モニタのビデオ ケーブ ルが外れている	15ピン モニタ ビデオ ケーブルをコン ピュータに接続します。コンピュータの電 源が入っていることを確認します
[Out of Frequency] が画面に表示され る	ビデオ解像度やリフレッ シュレートがモニタがサ ポートするレベルを超え るレベルに設定されてい る	コンピュータを再起動し、Safeモードにし ます。設定値をサポートされている設定値 に変更します (「 技術仕様 」を参照)。コン ピュータを再起動し、新しい設定値を有効 にします
モニタが過熱して いる	適切な通気ができる十分 な換気孔がない	モニタの周りには少なくとも76 mmの換 気スペースを設け、またモニタの上には物 を置かないでください

インターネットWebサイト

HPのサポートWebサイト (<http://www.hp.com/jp/support/>) で各種情報を提供していますので、HPのサポート窓口に問い合わせる前に、参照してみてください。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目を参照しても問題が解決しない場合は、テクニカル サポートをご利用ください。テクニカル サポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニタのモデル番号
- モニタのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアとソフトウェアの種類

技術仕様



すべての動作仕様はコンポーネントの製造元から提供されています。動作仕様とは、HPのコンポーネントの製造元すべての、通常のレベルの動作仕様のうち最も高い仕様を表します。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

v75、MV7540、s7540 17インチ カーブCRTモニタ

画面サイズ	43 cm (17インチ) 対角線 表示可能画面サイズ41 cm (16インチ) 反射防止コート
ドット ピッチ	0.28 mm (対角方向)
表示範囲 (デフォルト)	234 × 312 mm (定型)
表示色	無限色
表示解像度	垂直同期周波数
640 × 480	60 Hz
640 × 480	75 Hz
640 × 480	85 Hz
720 × 400	70 Hz
800 × 600	75 Hz
800 × 600	85 Hz
1024 × 768	75 Hz
1024 × 768	85 Hz (推奨解像度)
1152 × 864	75 Hz
1280 × 1024	60 Hz (最大解像度)
同期周波数 (水平)	30 ~ 70 KHz

同期周波数（垂直）	50～160 Hz
最大ピクセル クロック	最大110 MHz
入力信号	ビデオRGBアナログ同期 TTLセパレート
ビデオ ケーブル	15ピンDサブ コネクタ
電源電圧周波数	100～240 V AC 50±3/60±3 Hz
過渡電流	30 A @ 120 V AC 60 A @ 220 V AC
消費電力	75 W（最大）
開梱時台付き外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	410×410×430 mm（最大）
質量	最大17 kg
動作温度範囲	10～35°C
保管時温度範囲	-30～60°C
使用湿度範囲	20～80 %（結露しないこと）
使用高度範囲	3048 mまで
TCO要件	一部のモデルはTCO'03に準拠
MPRII	一部のモデルで適合
プラグ アンド プレイ	プラグ アンド プレイ機能対応

mx705およびFS7600

17インチ フラットCRTモニター

画面サイズ	43 cm (17インチ) 対角線 表示可能画面サイズ41 cm (16インチ)
ドット ピッチ	0.25~0.28 mm (対角方向)
表示範囲 (デフォルト)	234×312 mm (定型)
表示色	無限色
表示解像度	垂直同期周波数
640×480	60 Hz
640×480	75 Hz
640×480	85 Hz
720×400	70 Hz
800×600	75 Hz
800×600	85 Hz
1024×768	75 Hz
1024×768	85 Hz (推奨解像度)
1152×864	75 Hz
1280×1024	60 Hz (最大解像度)
同期周波数 (水平)	30~70 KHz
同期周波数 (垂直)	50~140 Hz
最大ピクセル クロック	最大110 MHz
入力信号	ビデオRGBアナログ同期 TTLセパレート
ビデオ ケーブル	15ピンDサブ コネクタ
電源電圧周波数	100~240 V AC 50±3/60±3 Hz
過渡電流	30 A @ 120 V AC 60 A @ 220 V AC
消費電力	75 W (最大)
開梱時台付き外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	410×410×430 mm (最大)
質量	最大17 kg
動作温度範囲	10~35°C

保管時温度範囲	-30～60℃
使用湿度範囲	20～80 %（結露しないこと）
使用高度範囲	3048 mまで
TCO要件	一部のモデルはTCO'03に準拠
MPRII	一部のモデルで適合
プラグ アンド プレイ	プラグ アンド プレイ機能対応

v7650 17インチ フラットCRTモニタ

画面サイズ	43 cm (17インチ) 対角線 表示可能画面サイズ40.6 cm (16インチ) 反射防止コート
ドット ピッチ	0.25~0.28 mm (対角方向)
表示範囲 (デフォルト)	234×312 mm (定型)
表示色	無限色
表示解像度	垂直同期周波数
640×480	60 Hz
640×480	75 Hz
640×480	85 Hz
720×400	70 Hz
800×600	75 Hz
800×600	85 Hz
1024×768	75 Hz
1024×768	85 Hz (推奨解像度)
1280×1024	75 Hz
1600×1200	65 Hz (最大解像度)
同期周波数 (水平)	30~86 KHz
同期周波数 (垂直)	50~160 Hz
最大ピクセル クロック	最大180 MHz
入力信号	ビデオRGBアナログ同期 TTLセパレート
ビデオ ケーブル	15ピンDサブ コネクタ
電源電圧周波数	100~240 V AC 50±3/60±3 Hz
過渡電流	30 A @ 120 V AC 60 A @ 220 V AC
消費電力	75 W (最大)
開梱時台付き外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	410×410×430 mm (最大)
質量	最大17 kg

動作温度範囲	10～35℃
保管時温度範囲	-30～60℃
使用湿度範囲	20～80 %（結露しないこと）
使用高度範囲	3048 mまで
TCO要件	一部のモデルはTCO'03に準拠
MPRII	一部のモデルで適合
プラグ アンド プレイ	プラグ アンド プレイ機能対応

規定に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。ただし、一般的な注意事項などに関しては、日本語で記載しています。

Federal Communications Commission Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo, United States Only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding your product, contact:

Hewlett Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 530113
Houston, Texas 77269-2000

Or, call

1-800- 652-6672

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, Texas 77269-2000

Or, call

(281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

Canadian Notice

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Notice

Products with the CE Marking comply with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms (in brackets are the equivalent international standards):

- EN55022 (CISPR 22) - Electromagnetic Interference
- EN55024 (IEC61000-4-2,3,4,5,6,8,11) - Electromagnetic Immunity
- EN61000-3-2 (IEC61000-3-2) – Power Line Harmonics
- EN61000-3-3 (IEC61000-3-3) – Power Line Flicker
- EN60950 (IEC950) - Product Safety

Korean Notice

사용자 안내문 (B급기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파장애 검정을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

電源コードの要件

このモニタの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニタは100～120 Vまたは200～240 VのAC電圧で動作します。

このモニタに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品取締法または電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は $0.75\text{ mm}^2/18\text{ AWG}$ 以上、長さは1.8～3.6 mでなければなりません。使用する電源コードの種類については、HPのサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取扱いにも注意して配線してください。

この製品を日本国内で使用する場合は、以下の点に注意してください。

- 製品に同梱されていた電源コードをお使いください。
- 同梱されていた電源コードは、他の製品では使用できません。